

# はまる?! コインサッカー

芸工大と  
モンテコロボ

テーブルの上のコインを指ではじいて得点を競い合う「コインサッカー」の大会が14日、山形市の東北芸術工科大で開かれた。中層にはかつて遊んだ「10円サッカー」としてなじみがあり、絶妙なコントロールと力加減でゴールを決めると、机を取り囲む観衆が歓声を上げていた。

同大と連携協定を結ぶモンテデオ山形のコラボレーション企画。企画構想学科4年の片平圭亮さんの22が、小学生のころ教室の机で10円玉をはじいていた思い出をたどって「サッカーの楽しさを知るきっかけになるのでは」と、卒業制作として開催した。「10円玉で遊ぶと怒られるから」と専用コインを制作し、ゲーム性を高めるルールも考案した。

3枚のコインを使用。先にはじいた2枚の間を通し

ながら敵陣に攻め込み、シートもコインの間を通して打つ。守備側は、小指を立てた拳を机に並べてゴールをつくり、人さし指がキ

ーパーの役目を担う。3人1チームで9チームが参加。コインをはじく距離が短かったり、強く打つて机を飛び出たりと力加減に悪戦苦闘。この日のために猛練習を積んだ3年の展岐清人さん(22)は「次の展開を考えてコインをはじくパス回しが重要」と説明。最年少で参加した中村心優ちゃん(5)は、手が小さいためゴールの幅が極端に狭い強みで大人に勝利すると、「簡単で楽しい」と笑顔を見せていた。

